



## 北法相宗 宗務長・清水寺 執事 教学部長の森清顕氏

## 2026年度京都橘大学客員教授に就任

## AI時代に求められる『問いを立てる思考力』を仏教の智慧から学ぶ

京都橘大学（京都市山科区、学長：岡田 知弘）では、2026年度客員教授として、新たに森清顕氏をお迎えいたします。2026年度は、主として工学部および看護学部の授業やリカレント教育などに携わっていただく予定です。

森氏は、北法相宗 宗務長・清水寺 執事 教学部長として、1200年以上にわたり受け継がれてきた仏教の教えや観音信仰を、現代人が日常生活の中で実践できるように伝えられています。また、仏教における慈悲の思想や生老病死の死生観を基盤に、心理学や臨床の知見を融合させた体系的なグリーフケア（悲嘆ケア）の普及にも尽力されています。2025年からは、多様な学問分野の知識を仏教の智慧を交えて学ぶ「清水寺学峯」の学峯長として、幅広い世代に学びの場を提供されています。

AIやテクノロジーが進化し続ける中、本学工学部では、「技術は人の豊かさのためにある」という視点を大切にしています。森氏が語る仏教の智慧に触れることで、「豊かさとは何か」、「人間とは何か」といった根源的な問いに、学生一人ひとりが向き合う学びの場の創出をめざします。また、看護学部では、身体や心、そして人生によりそう看護を創造できる人材の育成をめざしています。森氏が説くグリーフケアの知見から、人の悲しみや痛みによりそい、立ち直り、自立を支える支援のあり方を学ぶことでケアの精神を本質的に学び、理解する機会とします。

## 【客員教授プロフィール】

## ●森清顕（もり・せいげん）氏

## 【北法相宗 宗務長・清水寺 執事 教学部長】

博士（文学）。1976年、京都府生まれ。

2005年：立正大学大学院 文学研究科 仏教学専攻 博士後期課程 修了

2023年：北法相宗宗務長 清水寺執事・教学部長

2025年：清水寺学峯 学峯長

## ●活動概要

北法相宗宗務長、清水寺執事・教学部長ほか、上智大学グリーフケア研究所非常勤講師・客員所員、立命館大学歴史都市防災研究所客員研究員。また、自身が立ち上げパーソナリティーも務めるラジオ番組「西国三十三所トリップアラウンド33」でJFN賞2019企画部門地域賞を受賞。現在もラジオ番組の企画構成・出演や執筆活動、ノーライトアップでの夜の特別拝観企画など、より親しみやすく、深く、観音信仰や仏教を伝えること、体験の場の創造に奔走。新しい学びの場として「清水寺学峯」を企画・展開中。共著に『清水寺に会いにこないか』ほか。



## ●取材・内容についてのお問い合わせ先

京都橘大学広報課 担当：立木、前川 TEL：075-574-4112 E-mail：pub@tachibana-u.ac.jp